

記念印



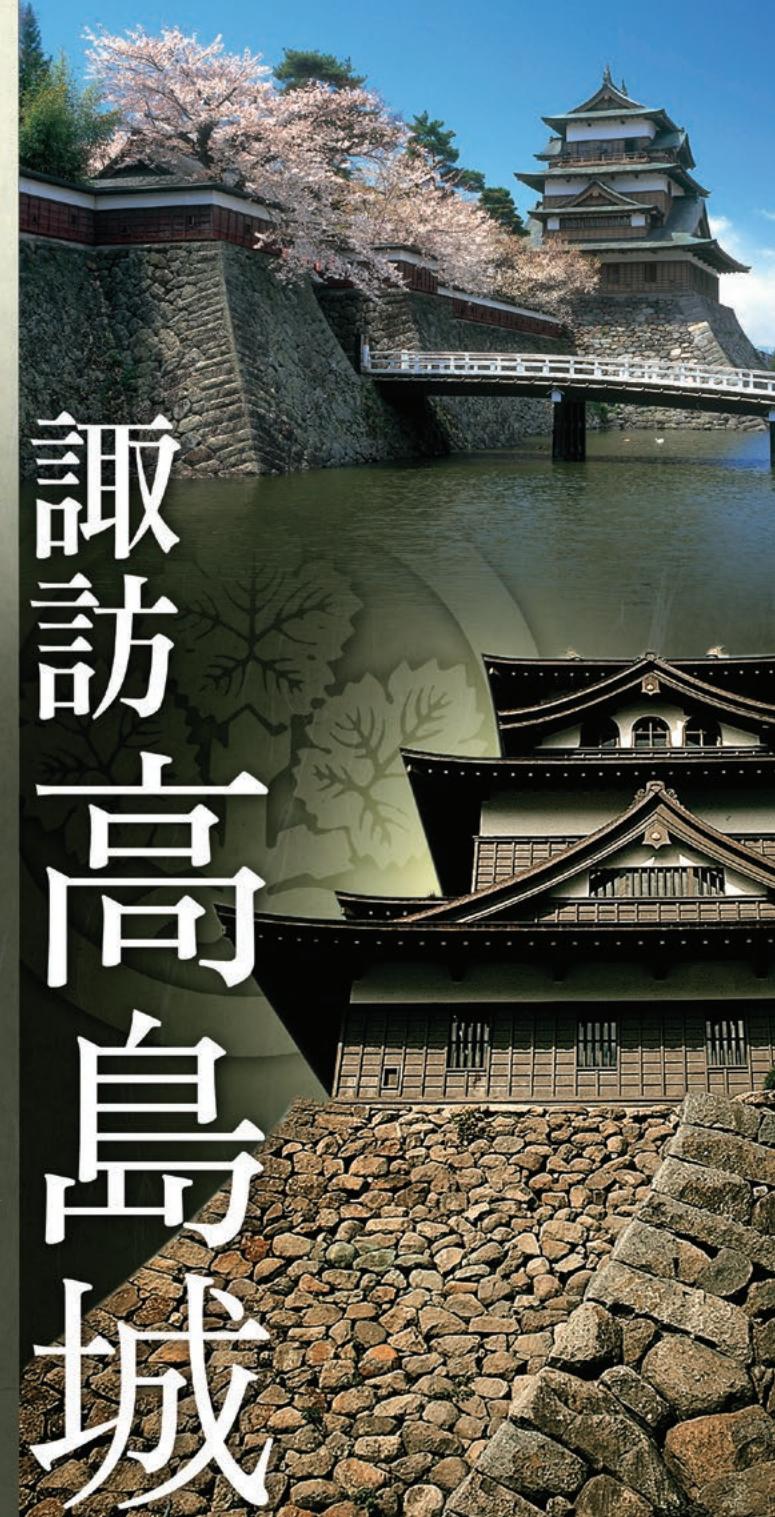
- ・入場料 おとな310円(200円) こども150円(100円)
※()内料金は20名以上の団体
- ・休館日 12/26~12/31及び11月第2木曜日 ほか臨時休館あり
- ・開館時間 9:00~17:30(10/1~3/31は16:30まで)



[問い合わせ]
〒392-0022
長野県諏訪市高島1丁目20番1号
TEL / FAX. 0266-53-1173

〈交通のご案内〉
◆JR中央本線ご利用の場合
上諏訪駅諏訪湖口から徒歩約10分
◆高速道路ご利用の場合
中央自動車道諏訪インターから約15分

諏訪 高島城





高島城

天正18年(1590)、当時の諫訪領主諫訪頼忠が徳川家康の関東へ転封に従って武藏国へ移った後、豊臣秀吉の家臣日根野織部正高吉が諫訪に転封、2万7千石を与えられ諫訪の領主となりました。

高吉は安土城や大阪城の築城にも携わった築城の名手。転封の翌年、天正19年(1591)にはすでに城地の見立てと設計を終え、翌文禄元年(1592)に着工、慶長3年(1598)まで7年ほどかかって高島城を築城。城の際まで諏訪湖の水が迫り、湖上に浮いて見えたことから別名「諏訪の浮城」と呼ばれ、また「諏訪の殿様よい城持ちやるうしろ松山前は海」と歌われた名城です。その後、関ヶ原の戦いで徳川軍に属した諏訪頼水(頼忠の子)は、慶長6年(1601)家康の恩恵によって旧領諏訪に帰り藩主となり、以後、10代藩主忠礼に至る270年の間、諏訪氏の居城としてその威容を誇りました。

しかし明治4年(1871)、廃藩置県により封建制のシンボルである城郭の撤去が決定。明治8年(1875)には天守閣の撤去が終了。翌明治9年(1876)、本丸跡が高島公園として一般に開放されました。諏訪住民の高島城に寄せる愛着は強く、昭和45年(1970)、天守閣が復興されました。同時に、冠木門・角櫓なども復興されたほか、当時の石垣の一部も残るなど、今も往時を偲ぶことができます。

諏訪氏家紋



梶葉紋(表紋)
諏訪明神を象徴する紋
所として諏訪氏が使用



鶴丸紋(裏紋)
諏訪氏の他、森、南部、
鳥居の3氏及び旗本
184衆が使用

高島城歴代城主（高島藩主）	
初代	頼水（よりみず）
2代	忠恒（ただつね）
3代	忠晴（ただはる）
4代	忠虎（ただとら）
5代	忠林（ただとき）
6代	忠厚（ただあつ）
7代	忠甫（ただかた）
8代	忠恕（ただみち）
9代	忠誠（ただまさ）
10代	忠礼（ただあや）
10代	明治元年（1868）

〈築城当時の高島城概要〉

本丸、二之丸、三之丸などの主要な郭をほぼ一直線上に連続配置した連郭式で、諏訪湖と数条の河川に囲まれた、水を守りとする難攻不落の水城でした。天守閣は屋根に瓦ではなく、檜の薄い板を葺いた柿葺という珍しいもので(復興後銅板葺)、これは、諏訪の寒冷に堪えられる瓦が調達できなかったためと言われています。また、築城当時の石垣は、自然石を加工せずに積み上げた野面積でした。天明6年の大掛かりな補修によって大部分は整備されました BUT 現在でもその一部が残されています。

本丸

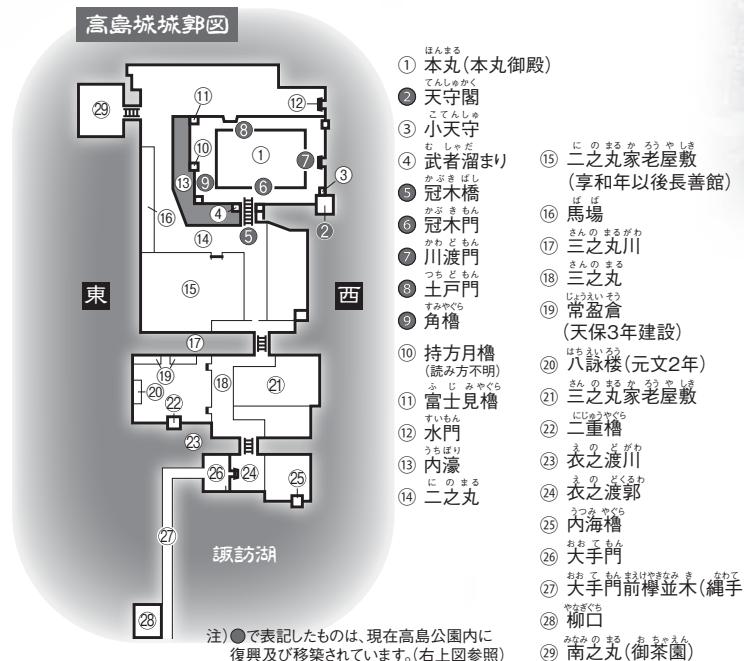
三層の天守閣と城主の御殿や書院、政務をとる御用部屋、郡方、賄方。その他、能舞台、氷餅部屋など多くの建物がありました。(現在の高島公園)

二之丸

家老の二之丸屋敷、職人が詰めて働く御作事屋、貯米蔵、貯錢蔵、馬場などがありました。6代忠厚の時に起った「二之丸一件」で二之丸屋敷は取り壊され、藩校「長善館」が建てられました。

三之丸

三之丸御殿、家老の三之丸屋敷、藩の会計を預かる御勘定所などがありました。また、8代忠恕の時、凶年の窮民救済のための貯米倉庫「常盈倉」が建てられました。



[天守閣概要]

延面積 381m²

高さ 20.2m(含鰓1.7m)、三層

鱗高さ 1.7m、重さ250kg

天守台 12.54m(石垣)

●1階 國土資料室(187m² 13.8m四方)・企画展示室

正面梁下に諏訪桿の紋章をつけて一城の威儀を示していました。また、右方に上層に通じる箱段、左方には湯呑場という10畳間があり番士が在勤執務していました。

●2階 高島城史料室(141m²)

軍議を評定する大広間(20畳)、その奥、左右に上使聴聞の間、上使休憩の間と呼ばれる2つの間(各15畳)の3間がありました。壁の外部は浜椽(はまえん)で、戦時はここに斥候を出して敵状を偵察したり、防御の矢石を飛ばすところでした。

●3階 高島城史料室・展望台(53m)

左方に8畳2間、右方に6畳2間があり、前者は藩士休養のために、後者は“焼火の間”と呼ばれ秘密事を協議する場所でした。各間の襖には、代々藩主の揮毫の書画が貼ってありました。